

[ 1 ]  $(2a + b)^3$  を展開せよ。

[ 2 ]  $125x^3 + 64y^3$  を因数分解せよ。

[ 3 ]  $x - \frac{1}{x} = 2$  のとき、次の式の値を求めよ。

(1)  $x^2 + \frac{1}{x^2}$

(2)  $x^3 - \frac{1}{x^3}$

[ 4 ]  $a^6 - 26a^3 - 27$  を因数分解せよ。

[ 5 ]  $(3x - 2)^5$  の展開式において、 $x^2$  の項の係数を求めよ。

[ 6 ]  $(x^2 + 2x - 1)^8$  の展開式において、 $x^5$  の項の係数を求めよ。

[ 7 ]  $x^3 - 2x^2 - 4x + 8$  を  $B$  で割ると、商が  $x + 1$ 、余りが  $-5x + 4$  となる整式  $B$  を求めよ。

[ 8 ] 次の式を計算せよ。  $\frac{x^2 - 2x}{x^2 - x - 12} \div \frac{x^2 - 4}{x^2 + 5x + 6}$

[ 9 ] 次の式を計算せよ。  $\frac{1}{x^2 - x} - \frac{2}{x^2 - 1}$

[10] 次の式を計算せよ。

$$\frac{1}{x(x+2)} + \frac{1}{(x+2)(x+4)} + \frac{1}{(x+4)(x+6)}$$

[11] 次の等式が  $x$  についての恒等式となるように、定数  $a$ ,  $b$ ,  $c$  の値を定めよ。

$$ax(x+1) + bx(x-1) + c(x+1)(x-1) = 2x^2 + 3x - 1$$

[12] 次の等式を証明せよ。  $(a + 2b)^2 + (2a - b)^2 = 5(a^2 + b^2)$

13  $a+b+c=0$  のとき，等式  $a^3+b^3+c^3=3abc$  を証明せよ。

14 不等式  $x^2+2xy+2y^2\geq 0$  を証明せよ。また，等号が成り立つときを調べよ。

15  $a>0$ ， $b>0$  とする。不等式  $2\sqrt{a}+\sqrt{b}>\sqrt{4a+b}$  を証明せよ。

16 4 と 9の相加平均と相乗平均をそれぞれ求めよ。

17  $\frac{x}{a}=\frac{y}{b}=\frac{z}{c}=2$  のとき，次の式の値を求めよ。 $\frac{x^2+y^2+z^2}{a^2+b^2+c^2}$

18 不等式  $|a|+|b|\geq|a+b|$  を証明せよ。また，等号が成り立つときを調べよ。

19  $a>0$ ， $b>0$  のとき，不等式  $\left(a+\frac{1}{b}\right)\left(b+\frac{4}{a}\right)\geq 9$  を証明せよ。また，等号が成り立つときを調べよ。

20  $x$  が 0 以上の実数であるとき，関数  $f(x)=\frac{x^4-2x^3-x^2+2x+34}{x^2-x+3}$  の最小値とそのときの  $x$  の値を求めよ。

1

(2a+b)<sup>3</sup>を展開せよ。

解説

与式=(2a)<sup>3</sup>+3・(2a)<sup>2</sup>・b+3・2a・b<sup>2</sup>+b<sup>3</sup>  
=8a<sup>3</sup>+12a<sup>2</sup>b+6ab<sup>2</sup>+b<sup>3</sup>

8a<sup>3</sup>+12a<sup>2</sup>b+6ab<sup>2</sup>+b<sup>3</sup>  
≡2

2

125x<sup>3</sup>+64y<sup>3</sup>を因数分解せよ。

解説

与式=(5x)<sup>3</sup>+(4y)<sup>3</sup>  
=(5x+4y)((5x)<sup>2</sup>-5x・4y+(4y)<sup>2</sup>)  
=(5x+4y)(25x<sup>2</sup>-20xy+16y<sup>2</sup>)

(5x+4y)(25x<sup>2</sup>-20xy+16y<sup>2</sup>)  
≡2

3

x- $\frac{1}{x}$ =2のとき、次の式の値を求めよ。

(1) x<sup>2</sup>+ $\frac{1}{x^2}$

(2) x<sup>3</sup>- $\frac{1}{x^3}$

解説

(1) 6 (2) 14

(1) x<sup>2</sup>+ $\frac{1}{x^2}$ =(x- $\frac{1}{x}$ )<sup>2</sup>+2x・ $\frac{1}{x}$ =2<sup>2</sup>+2・1=6

(2) x<sup>3</sup>- $\frac{1}{x^3}$ =(x- $\frac{1}{x}$ )<sup>3</sup>-3x(- $\frac{1}{x}$ )(x- $\frac{1}{x}$ )=2<sup>3</sup>+3・1・2=14

別解 x<sup>3</sup>- $\frac{1}{x^3}$ =(x- $\frac{1}{x}$ )(x<sup>2</sup>+x・ $\frac{1}{x}$ + $\frac{1}{x^2}$ )=2(6+1)=14

4

a<sup>6</sup>-26a<sup>3</sup>-27を因数分解せよ。

解説

与式=(a<sup>3</sup>)<sup>2</sup>-26a<sup>3</sup>-27=(a<sup>3</sup>+1)(a<sup>3</sup>-27)

=(a+1)(a<sup>2</sup>-a+1)(a-3)(a<sup>2</sup>+3a+9)

=(a+1)(a-3)(a<sup>2</sup>-a+1)(a<sup>2</sup>+3a+9)

a<sup>2</sup>+6a+9≡2

6

(x<sup>2</sup>+2x-1)<sup>8</sup>の展開式において、x<sup>5</sup>の項の係数を求めよ。

解説

展開式の一般項は  
 $\frac{8!}{p!q!r!}(x^2)^p(2x)^q(-1)^r=\frac{8!}{p!q!r!}\cdot2^q(-1)^rx^{2p+q}$   
ただし p+q+r=8, p≥0, q≥0, r≥0  
x<sup>5</sup>の項は2p+q=5……①のときである。  
p≥0, q≥0であるから、このとき、p=0, 1, 2であり、  
p=0のとき q=5  
p=1のとき q=3  
p=2のとき q=1  
よって、①とp+q+r=8を満たす負でない整数p, q, rの組は  
(p, q, r)=(0, 5, 3), (1, 3, 4), (2, 1, 5)

したがって、求める係数は  
 $\frac{8!}{0!5!3!}\cdot2^5(-1)^3+\frac{8!}{1!3!4!}\cdot2^3(-1)^4+\frac{8!}{2!1!5!}\cdot2^1(-1)^5$   
=-1792+2240-336=112

7

x<sup>3</sup>-2x<sup>2</sup>-4x+8をBで割ると、商がx+1、余りが-5x+4となる整式Bを求めよ。

解説

条件から、次の等式が成り立つ。  
x<sup>3</sup>-2x<sup>2</sup>-4x+8=B(x+1)-5x+4  
整理すると  
x<sup>3</sup>-2x<sup>2</sup>+x+4=B(x+1)

よって、x<sup>3</sup>-2x<sup>2</sup>+x+4はx+1で割り切れて、その商がBである。

右の計算により  
B=x<sup>2</sup>-3x+4

8

次の式を計算せよ。

解説

与式= $\frac{x^2-2x}{x^2-x-12}\times\frac{x^2+5x+6}{x^2-4}$   
= $\frac{x(x-2)}{(x+3)(x-4)}\times\frac{(x+2)(x+3)}{(x+2)(x-2)}=\frac{x}{x-4}$

9

次の式を計算せよ。

解説

$\frac{1}{x^2-x}-\frac{2}{x^2-1}=\frac{1}{x(x-1)}-\frac{2}{(x-1)(x+1)}$   
= $\frac{(x+1)-2x}{x(x-1)(x+1)}=\frac{-(x-1)}{x(x-1)(x+1)}$   
= $-\frac{1}{x(x+1)}$

10

次の式を計算せよ。

解説

与式= $\frac{1}{x(x+2)}+\frac{1}{(x+2)(x+4)}+\frac{1}{(x+4)(x+6)}$   
= $\frac{1}{2}(\frac{1}{x}-\frac{1}{x+2})+\frac{1}{2}(\frac{1}{x+2}-\frac{1}{x+4})+\frac{1}{2}(\frac{1}{x+4}-\frac{1}{x+6})$   
= $\frac{1}{2}(\frac{1}{x}-\frac{1}{x+6})=\frac{1}{2}\cdot\frac{x+6-x}{x(x+6)}=\frac{3}{x(x+6)}$

11

次の等式がxについての恒等式となるように、定数a, b, cの値を定めよ。

解説

等式の両辺をxについて整理すると (a+b+c)x<sup>2</sup>+(a-b)x-c=2x<sup>2</sup>+3x-1  
両辺の同じ次数の項の係数を比較して a+b+c=2, a-b=3, -c=-1  
これを解いて a=2, b=-1, c=1

別解 等式の両辺のxに0, 1, -1をそれぞれ代入すると  
-c=-1, 2a=4, 2b=-2  
これを解いて a=2, b=-1, c=1  
逆に、このとき  
左辺=2x(x+1)-x(x-1)+(x+1)(x-1)  
=2x<sup>2</sup>+2x-x<sup>2</sup>+x+x<sup>2</sup>-1  
=2x<sup>2</sup>+3x-1=右辺  
となり、与式はxについての恒等式である。  
したがって a=2, b=-1, c=1

12

次の等式を証明せよ。

解説

左辺=(a<sup>2</sup>+4ab+4b<sup>2</sup>)+(4a<sup>2</sup>-4ab+b<sup>2</sup>)  
=5a<sup>2</sup>+5b<sup>2</sup>=5(a<sup>2</sup>+b<sup>2</sup>)=右辺  
よって (a+2b)<sup>2</sup>+(2a-b)<sup>2</sup>=5(a<sup>2</sup>+b<sup>2</sup>)

13  $a+b+c=0$  のとき、等式  $a^3+b^3+c^3=3abc$  を証明せよ。

解説

$a+b+c=0$  より、 $c=-(a+b)$  であるから

$$\begin{aligned} \text{左辺} - \text{右辺} &= a^3+b^3+c^3-3abc = a^3+b^3-(a+b)^3+3ab(a+b) \\ &= a^3+b^3-a^3-3a^2b-3ab^2-b^3+3a^2b+3ab^2 \\ &= 0 \end{aligned}$$

よって  $a^3+b^3+c^3=3abc$

参考 左辺-右辺  $= a^3+b^3+c^3-3abc$

$a^3+b^3+c^3-3abc$  は

$$a^3+b^3+c^3-3abc = (a+b+c)(a^2+b^2+c^2-ab-bc-ca)$$

のように因数分解される。

したがって、 $a+b+c=0$  のとき  $a^3+b^3+c^3-3abc=0$

よって、 $a+b+c=0$  のとき、左辺-右辺  $=0$  であるから、等式は成り立つ。

14 不等式  $x^2+2xy+2y^2 \geq 0$  を証明せよ。また、等号が成り立つときを調べよ。

解説

$$x^2+2xy+2y^2 = (x+y)^2 + y^2$$

$(x+y)^2 \geq 0$ 、 $y^2 \geq 0$  であるから  $(x+y)^2 + y^2 \geq 0$

よって  $x^2+2xy+2y^2 \geq 0$

等号が成り立つのは、 $x+y=0$  かつ  $y=0$ 、すなわち  $x=y=0$  のときである。

15  $a>0$ 、 $b>0$  とする。不等式  $2\sqrt{a}+\sqrt{b} > \sqrt{4a+b}$  を証明せよ。

解説

両辺の平方の差を考えると

$$(2\sqrt{a}+\sqrt{b})^2 - (\sqrt{4a+b})^2 = (4a+4\sqrt{ab}+b) - (4a+b) = 4\sqrt{ab} > 0$$

よって  $(2\sqrt{a}+\sqrt{b})^2 > (\sqrt{4a+b})^2$

$2\sqrt{a}+\sqrt{b} > 0$ 、 $\sqrt{4a+b} > 0$  であるから  $2\sqrt{a}+\sqrt{b} > \sqrt{4a+b}$

16 4 と 9 の相加平均と相乗平均をそれぞれ求めよ。

解答 相加平均、相乗平均の順に  $\frac{13}{2}$ 、6 (4) (7.5)

解説

4 と 9 の 相加平均は  $\frac{4+9}{2} = \frac{13}{2}$

相乗平均は  $\sqrt{4 \times 9} = \sqrt{36} = 6$

17  $\frac{x}{a} = \frac{y}{b} = \frac{z}{c} = 2$  のとき、次の式の値を求めよ。  $\frac{x^2+y^2+z^2}{a^2+b^2+c^2}$

解答 4

解説

$$\frac{x}{a} = 2, \frac{y}{b} = 2, \frac{z}{c} = 2 \text{ から } x=2a, y=2b, z=2c$$

$$\begin{aligned} \frac{x^2+y^2+z^2}{a^2+b^2+c^2} &= \frac{(2a)^2+(2b)^2+(2c)^2}{a^2+b^2+c^2} = \frac{4a^2+4b^2+4c^2}{a^2+b^2+c^2} \\ &= \frac{4(a^2+b^2+c^2)}{a^2+b^2+c^2} = 4 \end{aligned}$$

18 不等式  $|a|+|b| \geq |a+b|$  を証明せよ。また、等号が成り立つときを調べよ。

解答 証明略、等号が成り立つのは  $ab \geq 0$  のとき

解説

両辺の平方の差を考えると

$$\begin{aligned} (|a|+|b|)^2 - |a+b|^2 &= |a|^2+2|a||b|+|b|^2 - (a+b)^2 \\ &= a^2+2|ab|+b^2 - (a^2+2ab+b^2) \\ &= 2(|ab|-ab) \geq 0 \end{aligned}$$

よって  $(|a|+|b|)^2 \geq |a+b|^2$

$|a|+|b| \geq 0$ 、 $|a+b| \geq 0$  であるから  $|a|+|b| \geq |a+b|$

等号が成り立つのは、 $|ab|=ab$  すなわち  $ab \geq 0$  のときである。

19  $a>0$ 、 $b>0$  のとき、不等式  $\left(a+\frac{1}{b}\right)\left(b+\frac{4}{a}\right) \geq 9$  を証明せよ。また、等号が成り立つときを調べよ。

解説

$$\begin{aligned} \left(a+\frac{1}{b}\right)\left(b+\frac{4}{a}\right) &= ab+4+\frac{4}{a}+\frac{1}{b} \\ &= ab+\frac{4}{ab}+5 \end{aligned}$$

ここで、 $ab>0$ 、 $\frac{4}{ab}>0$  であるから、相加平均と相乗平均の大小関係により

$$ab+\frac{4}{ab}+5 \geq 2\sqrt{ab \cdot \frac{4}{ab}}+5=9$$

よって  $\left(a+\frac{1}{b}\right)\left(b+\frac{4}{a}\right) \geq 9$

等号が成り立つのは  $ab = \frac{4}{ab}$ 、すなわち  $ab=2$  のときである。

$$ab=2$$

という条件が成り立つ。

20  $x$  が 0 以上の実数であるとき、関数  $f(x) = \frac{x^4-2x^3-x^2+2x+34}{x^2-x+3}$  の最小値とそのときの  $x$  の値を求めよ。

解答  $x = \frac{1+\sqrt{17}}{2}$  で最小値 6

解説

$$x^4-2x^3-x^2+2x+34 = (x^2-x+3)(x^2-x-5)+49$$

であるから

$$\frac{x^4-2x^3-x^2+2x+34}{x^2-x+3} = \frac{(x^2-x+3)(x^2-x-5)+49}{x^2-x+3}$$

$$= (x^2-x-5) + \frac{49}{x^2-x+3}$$

$$= (x^2-x+3) + \frac{49}{x^2-x+3} - 8 \quad \dots\dots ①$$

ここで、 $x^2-x+3$  について  $x^2-x+3 = \left(x-\frac{1}{2}\right)^2 + \frac{11}{4} > 0$

よって、 $x^2-x+3 > 0$ 、 $\frac{49}{x^2-x+3} > 0$  であるから、相加平均・相乗平均の大小関係により

$$(x^2-x+3) + \frac{49}{x^2-x+3} \geq 2\sqrt{(x^2-x+3) \cdot \frac{49}{x^2-x+3}} = 2 \cdot 7 = 14 \quad \dots\dots ②$$

①、② から  $f(x) \geq 14-8=6$

等号が成り立つのは  $x^2-x+3 = \frac{49}{x^2-x+3}$  すなわち  $x^2-x+3=7$  のときである。

ゆえに  $x^2-x-4=0$

$x \geq 0$  であるから、この 2 次方程式の解は  $x = \frac{1+\sqrt{17}}{2}$

したがって、関数  $f(x)$  は  $x = \frac{1+\sqrt{17}}{2}$  で最小値 6 をとる。